

JBS と日本テレビの合併会社 日テレ IT プロデュースが 報道を支える基幹システムを内製し、業界特有のニーズにマッチしたシステムを開発

日本ビジネスシステムズ株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：牧田幸弘 以下、JBS）は、株式会社日テレ IT プロデュース（本社：東京都港区 代表取締役社長：鈴木 重利 以下、日テレ IT プロデュース）が、日テレグループの報道番組の制作を支える「報道支援システム」を内製で開発した事例を公開しました。日テレ IT プロデュースは、JBS と日本テレビ放送網株式会社（本社：東京都港区 代表取締役 社長執行役員：杉山 美邦 以下、日本テレビ）が共同出資して設立した、日テレグループの IT 戦略実現を担うユーザー系システムインテグレーターです。

日テレ 日テレITプロデュース JBS

「報道支援システム」の開発を日テレ IT プロデュースが内製するために、JBS もプロジェクトを主導する立場として参画しました。JBS はシステム開発の経験・知見がある外注ベンダーとしてではなく、日テレグループの業務改革やビジネス成長を目的に、日テレチームと同じ視点に立って行動する"共創パートナー"の役割を果たし、3 社の垣根を超えたワンチームでプロジェクトを推進しました。

日テレ IT プロデュースが「報道支援システム」の開発を内製化することになった主な目的は、以下の通りです。

- ・主体性を持ち、現場視点でビジネスロジックをシステムに踏襲できる
- ・ビジネスサイクルに合わせて、機能追加・改修のスピードアップを図ることができる
- ・システムのブラックボックス化を回避できる

開発を内製した結果、上記の目的を達成するとともに、主に以下の効果が上がっています。

- ・開発コストと運用コストを、従来に比べて大幅に削減
- ・人材のスキルアップなど社内に知見が蓄積

詳しくはこちらよりご覧ください。

現場視点を持った IT 人材がビジネス戦略を具現化 業務特化システムの開発を内製で実現

https://www.jbs.co.jp/case/insourcing_ntv-ntvit

今後も JBS は、エンタープライズで培われた知見・技術力を活かし、お客さま企業のさらなるビジネス成長とデジタルトランスフォーメーションの実現を支援します。

※記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

※本プレスリリースのすべての内容は、作成日時点でのものであり、予告なく変更される場合があります。また、様々な事由・背景により、一部または全部が変更、キャンセル、実現困難となる場合があります。予めご了承ください。

【日本テレビ放送網株式会社】

代表者：代表取締役 社長執行役員 杉山 美邦

設立：1952年10月

社員数：1,325名（2021年4月1日現在）

事業概要：放送法による基幹放送事業及び一般放送事業、メディア事業、その他放送に関連する事業

URL：<https://www.ntv.co.jp/>

【株式会社日テレ IT プロデュース】

代表者：代表取締役社長 鈴木 重利

設立：2018年7月（※創立2006年9月）

社員数：109名（2021年7月1日現在）

事業概要：ITサービス事業（シェアードサービス・ASPサービス・運用アウトソーシング・ヘルプデスク）、システムインテグレーション事業（ITインフラ構築・各種工事）、ソリューション開発事業（業務アプリケーション開発・パッケージソフト開発）

URL：<https://www.ntvit.co.jp/>

【日本ビジネスシステムズ株式会社（JBS）】

代表者：代表取締役社長 牧田 幸弘

設立：1990年10月4日

社員数：2,250名（2020年10月時点）

主力事業：クラウドインテグレーション事業、クラウドサービス事業、ライセンス & プロダクツ事業

URL：<https://www.jbs.co.jp>

■ プレスリリースに関するお問い合わせ

日本ビジネスシステムズ株式会社 コーポレート戦略本部 マーケティング&コミュニケーション部 酒井

E-mail: PR@jbs.com / TEL: 03-6772-4000